

東洋高等学校

第3学年 進路通信



2024年4月20日(土) 保護者会

2024年度入試の振り返りと2025年度入試の展望

本日は大学入学共通テスト

273日前

進路部主任
進路部副主任

古木 政也
上田 貴裕

壁画再現模造模写

この壁画の再現には

高松塚古墳と同じ材質の

凝灰岩を使用し表面に



2024-2025年度入試の概況

亀石(奈良県明日香村／2024年2月2日)

2025年度入試の予想される全国的な動向

受験人口は最少から増加に転じるが、大学受験の実質倍率は最も低かった2024年度入試と変わらない。

新課程の共通テスト・一般選抜が初年度となるため、受験生は警戒して安定志向となる。

受験生は安定志向となるため、引き続き一般選抜の出願数を増やし、高い志願倍率が維持される。

私立大学の定員厳格化は入学定員数から収容定員数に変わったため、一般選抜の合格者数を増加させる。

受験人口の減少と合格者数の増加によるダブルの効果で、私立大の一般選抜は低い実質倍率が維持される。

私立大学が大量に正規合格を出すようになったため、繰上合格で入学金を2度払い込む事態は減少する。

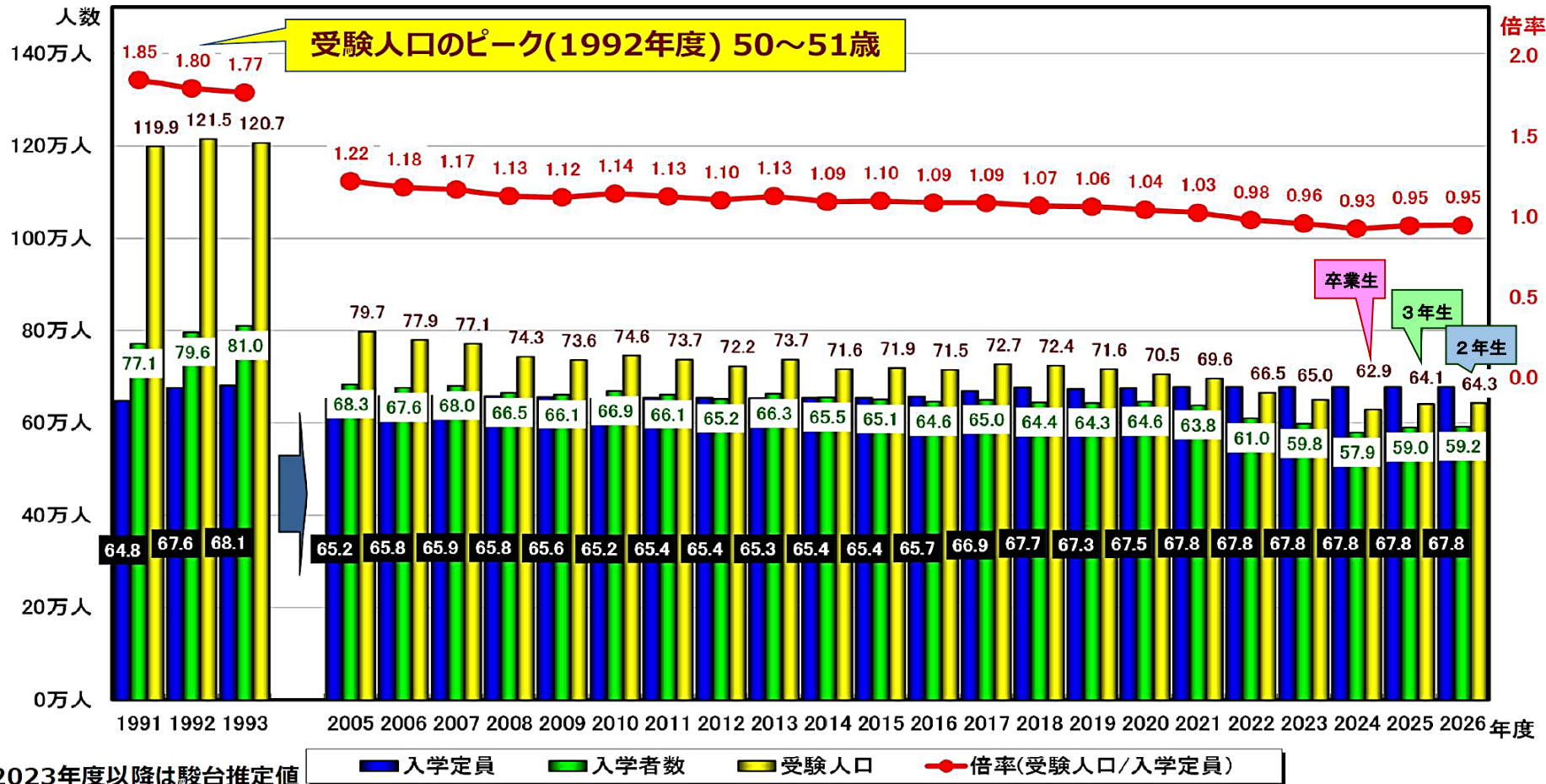
国公立大学・私立大学とも一般選抜で上位校を志望する受験生は強気で初志貫徹の出願をする。

近年はほとんどの受験生が現役で合格し進学したため既卒生が極端に少ない入試となる。

私大専願の受験生が新課程の共通テストを敬遠するため、共通テスト利用入試の実質倍率は緩和される。

安定志向により早く進学先を決めたいという心理から多くの受験生が総合型・学校推薦型選抜で進学する。

**粘り強くあきらめずにがんばれば
第1志望の大学に合格する可能性が高い
入試となることは変わらない。**



駿台予備学校「2023/2024 大学入試研究会 進学指導編」を一部改変

近年最少の受験人口からやや増えるが、第1志望に合格するチャンスが大きいことには変わりはない。

3 2024年度共通テスト出願者数

■ 2020年度入試の志願者数から、**2021-2024年度に合計して65,786人も減少した。**

■ 現役生は32,702人減少したが、既卒生も32,156人減少した。

■ 近年の大学入試は**極端に既卒生が少なくなっている。**



独立行政法人
大学入試センター
National Center for University Entrance Examinations

プレス発表

令和5年12月5日
独立行政法人大学入試センター

令和6年度大学入学共通テストの志願者数等について

令和6年度大学入学共通テストにおける志願者数等について確定しましたので公表します。
主なポイントは以下のとおりです。

志願者数について（資料①参照）

○志願者数は491,913人（対前年度比20,668人減）

【内訳】

- ・高等学校等卒業見込者（現役生）は419,533人（対前年度比17,340人減）
- ・高等学校等卒業生（既卒生）は68,220人（対前年度比3,422人減）
- ・高卒認定等の志願者は4,160人（対前年度比94人増）

現役志願率について（資料②参照）

○現役志願率は45.2%で**過去最高**（対前年度比0.1ポイント増）

※「現役志願率」：令和6年3月高等学校等卒業見込者（現役生）のうち、共通テストに出願した者の割合（共通テスト志願者のうちの現役生の割合ではない）。

共通テスト利用大学・専門職大学・短期大学総数について（資料③参照）

○利用大学・専門職大学・短期大学総数は**864大学**

※ 前年度より6大学減

（公立大学：1大学増、私立大学：5大学減、私立専門職大学：2専門職大学増、

公立短期大学：1短期大学増、私立短期大学：5短期大学減）

大学入学共通テスト平均点 政治・経済と英語リーディング過去最低点

大学入試センターは5日、大学入学共通テストの実施結果を発表した。本試験（1月13、14日）の確定平均点は、政治・経済と英語リーディングの2科目で過去最低点となった。

センターによると、出願者は49万1914人で、全日程で45万7608人が受験した。受験率は93.03%で、昨年から0.55ポイント増えた。

本試験の平均点で、過去最低となったのは、政治・経済（44.35点）と英語リーディング（51.54点）。両科目とも2年連続で、過去最低を更新した。

政治・経済は前身の大学入試センター試験時代を含めて、英語は配点が変わった共通テスト以降の比較。

（『朝日新聞』2024年2月6日朝刊）

- 英語R、政治・経済の全国平均点が2年続けて過去最低となった。

- ただし、前年度から7科目の平均点が上がったため、特に上位大学における積極的な出願が見られた。

- 受験人口の減少により、共通テストの受験者数はさらに少なくなった。

- 私立大学の入試問題との形式・内容上の乖離により、私立大学専願者が共通テスト対策は負担になると判断して、受験を回避した。

- 全国的には7科目受験者が過半数となっており、受験率は上昇している。

- 3科目受験者は全国で2割弱しかおらず、受験率が低下している。

- 3科目の受験率が低下しているのは、私大専願者が共通テストを敬遠しているため。

- 本校の7科目以上の受験者は141人（受験者中の34.98%）。

5 私立大学の定員厳格化の影響

入試年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
私立大学 厳格化	入学定員 1.20倍	入学定員 1.17倍	入学定員 1.14倍	入学定員 1.10倍	入学定員 1.10倍	入学定員 1.10倍	入学定員 1.10倍	入学定員 1.10倍	収容定員 1.10倍	収容定員 1.10倍	収容定員 1.10倍
在籍数	314	198	301	469	307	317	278	302	453	403	187
国公立	34	19	13	27	45	48	32	60	75	78	
(%)	10.8%	9.6%	4.3%	5.8%	14.7%	15.1%	11.5%	19.8%	16.5%	19.3%	
早慶上理	23	10	15	15	22	43	32	19	20	47	
(%)	7.3%	5.1%	5.0%	3.2%	7.2%	13.6%	11.5%	6.3%	4.4%	11.6%	
GMARCH	122	68	66	105	93	119	105	88	161	195	
(%)	38.9%	34.3%	21.9%	22.4%	30.3%	37.5%	37.8%	29.1%	35.5%	48.3%	
成成武明	35	17	42	55	54	41	44	69	99	94	
(%)	11.1%	8.6%	14.0%	11.7%	17.6%	12.9%	15.8%	22.8%	21.8%	23.3%	
日東駒専	162	92	148	166	148	193	132	172	304	260	
(%)	51.6%	46.5%	49.2%	35.4%	48.2%	60.9%	47.5%	57.0%	67.1%	64.5%	
備考			厳格化の 影響	厳格化の影響 3年次コース制変更	二期制 期間変更	センター試験 最終年度	共通テスト初年度 早期選抜新制度 コロナ禍	共通テスト2年目 コロナ禍2年目	厳格化緩和	現行共通テスト最終年 度	新課程共通テスト初年 度

- 2023年度入試から「入学定員」ではなく、「**収容定員**」の1.10倍までと変更され、定員厳格化は**緩和**された。
- 補欠・繰上合格で入学金を複数回支払うことは数年前に比べて少なくなった。
- それでも補欠・繰上合格が出るため、学部個別入試で「**受験歴**」を残すことが重要。

【一般選抜】〔早期選抜の受験者を含め全生徒が受験を想定する〕

- 大学入学共通テスト（本校の全生徒が受験）
- 給費生入試（スカラシップ入試）
- 共通テスト利用入試・共通テスト併用入試
- 学部個別入試
- 全学部入試（統一入試）
- 英語外部検定利用入試

【早期選抜】〔年内入試ともいう〕

- 総合型選抜（学校長推薦なし）
- 学校推薦型選抜（学校長推薦あり）
 - 〔 指定校制推薦
 - 〔 公募制推薦

A large, dark, moss-covered stone monument is the central focus, composed of several stacked boulders. The monument is situated on a dirt path in a rural landscape. In the background, there are rolling hills and mountains under a dramatic, cloudy sky. The text '2025年度大学入学共通テスト' is overlaid in white with a black outline across the middle of the stone.

2025年度大学入学共通テスト

石舞台古墳(奈良県明日香村／2024年2月2日)蘇我馬子の墓が有力

予想される 2025年度共通テスト時間割

1日目		2日目	
出題教科・科目	試験時間	出題教科・科目	試験時間
地理歴史 公民	「地理総合、地理探究」 「歴史総合、日本史探究」 「歴史総合、世界史探究」 「公共、倫理」 「公共、政治・経済」 「地理総合/歴史総合/公共」 2科目受験 9:30-11:40 [130分 ※解答時間120分] 1科目受験 10:40-11:40 [60分]	理科	「物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎」 「物理」「化学」「生物」 「地学」 2科目受験 9:30-11:40 [130分 ※解答時間120分] 1科目受験 10:40-11:40 [60分]
国語	「国語」 13:00-14:30 [90分]	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」 13:00-14:10 [70分]
外国語	「英語」【リーディング】 「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」【筆記】 15:20-16:40 [80分]	数学②	「数学Ⅱ・B・C」 15:00-16:10 [70分]
	「英語」【リスニング】 17:20-18:20 [60分 ※解答時間30分]	情報	「情報Ⅰ」 17:00-18:00 [60分]

●国語、数学②が10分ずつ延長、情報が加わったことで、両日ともに終了時間が18時台に

→各試験の時間配分に加え、国公立受験者は持久力と集中力がより必要か

●情報は数学②の後に設定されるため、受験者の入れ替わりなど、初年度は運用に混乱が生じる可能性あり

代々木ゼミナール「2025年度入試からの共通テスト」

〔本試験〕2025年1月18日(土)・19日(日)

〔追試験〕2025年1月25日(土)・26日(日)

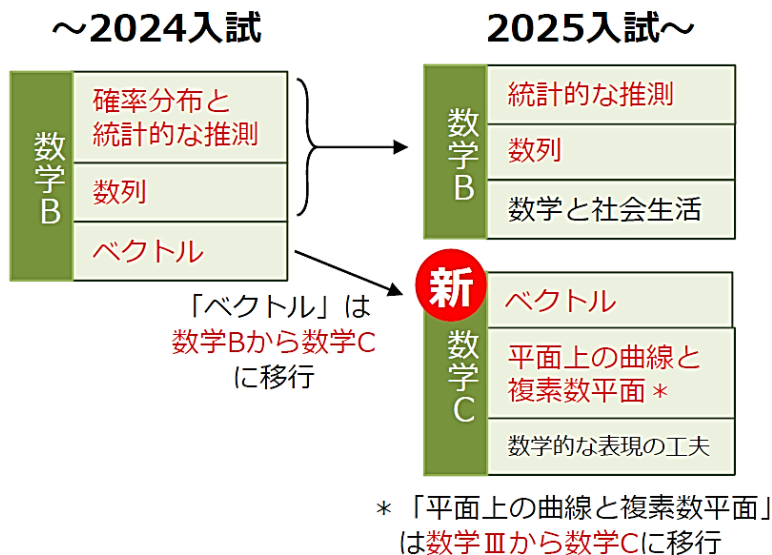
共通テストは早期選抜の合格者も含めて全員受験する。

教科	出題科目	解答時間	配点	備考
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	80分	200点	1科目を選択 英語はリーディングで別途リスニング (解答時間30分)を実施(配点は各100点)
数学①	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	70分	100点	1科目を選択
数学②	数学Ⅱ・数学B・数学C	70分	100点	
国語	国語	90分	200点	近代以降の文章110点、古文45点、漢文45点
理科	物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎 物理 化学 生物 地学	1科目 60分	1科目 100点	近代以降の文章の大問追加 最大2科目選択可
地理歴史 ・公民	地理総合・歴史総合・公共 地理総合・地理探究 歴史総合・日本史探究 歴史総合・世界史探究 公共・倫理 公共・政治経済	1科目 60分	1科目 100点	最大2科目選択可 (組み合わせ制限あり)
情報	情報Ⅰ	60分	100点	教科「情報」を出題

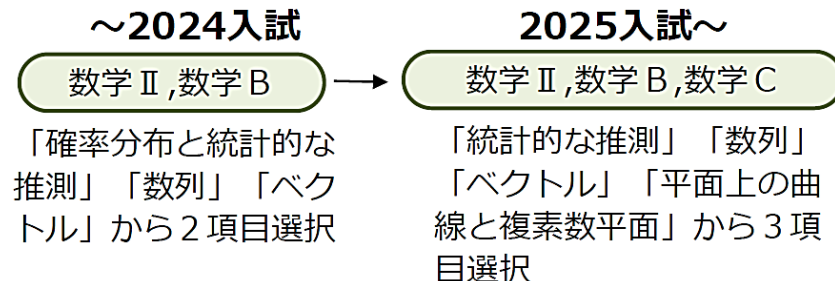
河合塾「大学公表資料から見る2025年度入試」

- 「数学②」, 「国語」, 「地理歴史・公民」が大きく変更される。
- 「情報」が新たに追加される。

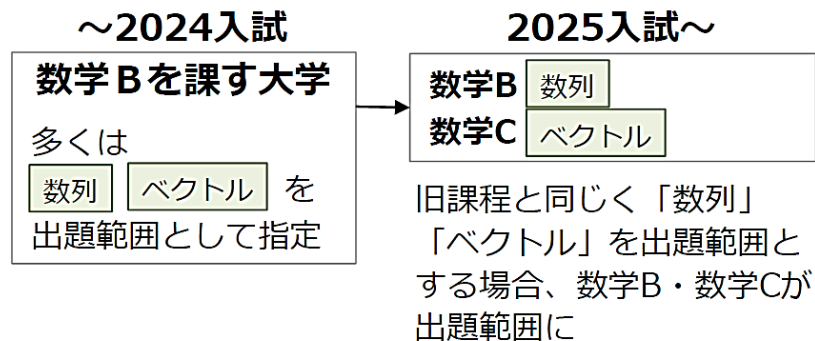
数学B・数学Cの科目構成の変化



共通テスト数学②



大学個別試験



●個別試験の数学は、旧課程の「数学B」部分の対応が注目ポイント

「ベクトル」が数学Cへ移行したため、出題範囲が増加したように見えるが、引き続き「数列（数学B）」、「ベクトル（数学C）」を指定している場合は実質的な出題範囲は変わらない。ただし、一部の大学で「統計的な推測（数学B）」を出題範囲に加えるケースが見られる。この場合「負担増」となるが、初年度は旧課程生への配慮が見込まれており、出題が本格化するのは2年目以降か。

10 2025年度共通テスト 国語 変更点

言語活動の過程をより重視した問題を「近代以降の文章」に追加。大問数は計5問になり、試験時間は10分延長。配点も変更され、近代以降の文章：古典は110：90に。

2023年度
試験時間 80分

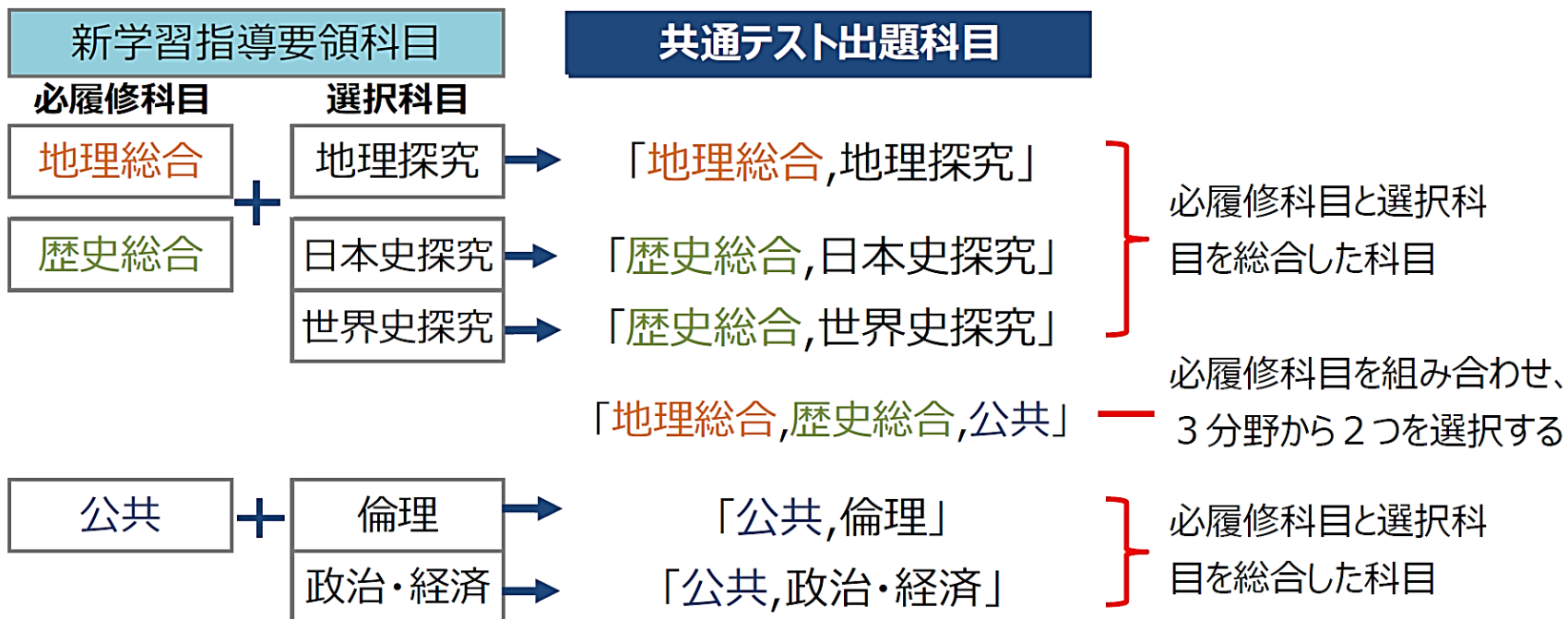
設問	分野	配点
第1問	近代以降の文章	50点
第2問	近代以降の文章	50点
		100点
第3問	古文	50点
第4問	漢文	50点
		100点

2025年度（試作問題）
試験時間 **90分**

設問	分野	配点
第1問	近代以降の文章	45点
第2問	近代以降の文章	45点
第3問	近代以降の文章	20点
		110点
第4問	古文	45点
第5問	漢文	45点
		90点

※大学入試センター公表資料より、2025年度は2022年11月公表の試作問題の構成（毎年度同じ形で出題されるとは限らないとしている）

地歴公民は計6科目に再編。2科目受験する場合、選択不可の組合せがある。



2科目選択時に組み合わせ不可の科目

- ①「公共,倫理」と「公共,政治・経済」
- ②「地理総合,歴史総合,公共」で選択した分野と同じ名称を含む科目
例) 「地理総合,歴史総合,公共」の「地理総合」と「歴史総合」を選択した場合の地理歴史3科目

解答大問数は4問。「情報Ⅰ」と「旧情報(仮)」で共通問題も。
プログラミング言語は、大学入試センター独自の日本語プログラム表記を用いる方向性で検討中。

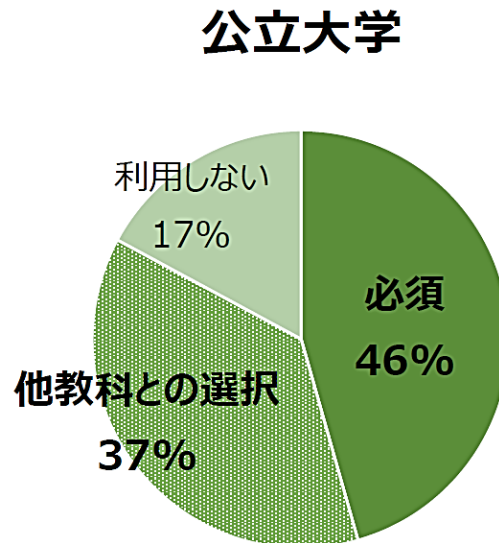
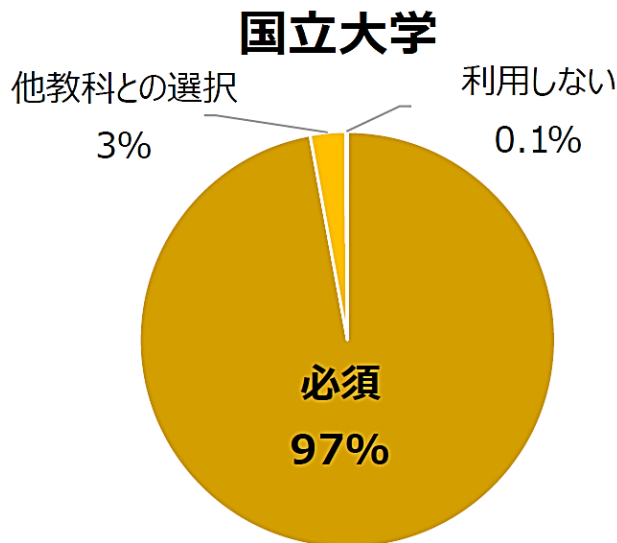
『情報Ⅰ』			『旧情報(仮)』			
第1問 (20点)	問1	① 必答	第1問 (35点)	A (20点)	問1	① 必答
	問2			問2		
	問3			問3		
	問4			問4		
第2問 (30点)	A (15点) ②	②	B (15点)	②		
	B (15点) ③			③		
第3問 (25点)	④		第2問 (15点)	(「情報の科学」履修者向け)	③ 選択	
第4問 (25点)	データ活用		第3問 (15点)	(「社会と情報」履修者向け)	④ 選択	
			第4問 (25点)			
			第5問 (25点)	(「情報の科学」履修者向け)		
			第6問 (25点)	(「社会と情報」履修者向け)		

プログラミング

①②③④は、「情報Ⅰ」と「旧情報(仮)」で共通問題だった(65点分)

※大学入試センター資料より作成(2022年11月現在)

- ・国立大ではほぼ「情報」必須。選択・課さない大学は一部にとどまる
- ・公立大は対応分かれる。少数教科を課すところでは選択科目とするケースが多い



必須の大学

旧帝7大、筑波大、東京工業大、一橋大、神戸大、岡山大、広島大、長崎大、札幌医科大、宮城大、大阪公立大、熊本県立大など

他教科との選択にする大学

北見工業大、信州大（人文）、山口大（共同獣医など）、名古屋市立大（経済など）、北九州市立大（文、外国語など）など

課さない大学

金沢大（文系一括、理系一括）、東京都立大（法）、愛知県立大（外国語など）、京都府立大（文、公共政策など）など

※河合塾調べ、2023年3月末現在、大学公表の募集区分に基づき一般選抜前期日程で集計

- ・私立大は選択科目として利用が主流で、方式により課さないケースもみられる

共通テスト「情報Ⅰ」の設定状況

<p>必須科目 として利用</p>	<p>日本大（文理－社会－C方式）、南山大（理工－前期6教科型）、福岡工業大（前期情報型） など</p>	<p>4%</p>
<p>選択科目 として利用</p>	<p>北星学園大（一部学部・学科）、青山学院大（一部学部・学科）、学習院大（文－英語英米文化など）、中央大（法、理工を除く）、東京理科大（A方式）、法政大（B方式の一部）、明治大（一部学部・学科）、早稲田大（国際教養、政治経済など）、名城大（都市情報など）、京都産業大（理学部の一部除く）、同志社大（一部学部・学科）、西南学院大（一部学部・学科） など</p>	<p>84%</p>
<p>課さない (利用しない)</p>	<p>学習院大（法、経済、理など）、上智大（文、法、経済 など）、東京理科大（C方式） など</p>	<p>51%</p>

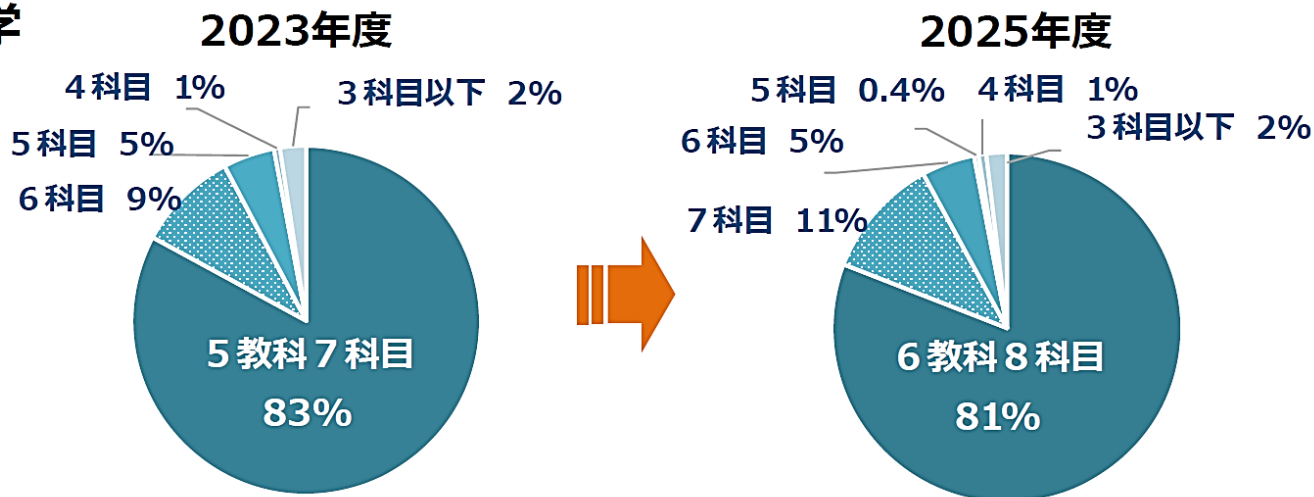
※河合塾調べ、2023年3月末現在

※共通テスト利用方式で集計（1大学で学部・学科・方式により設定状況が異なる場合、それぞれを1件として集計）

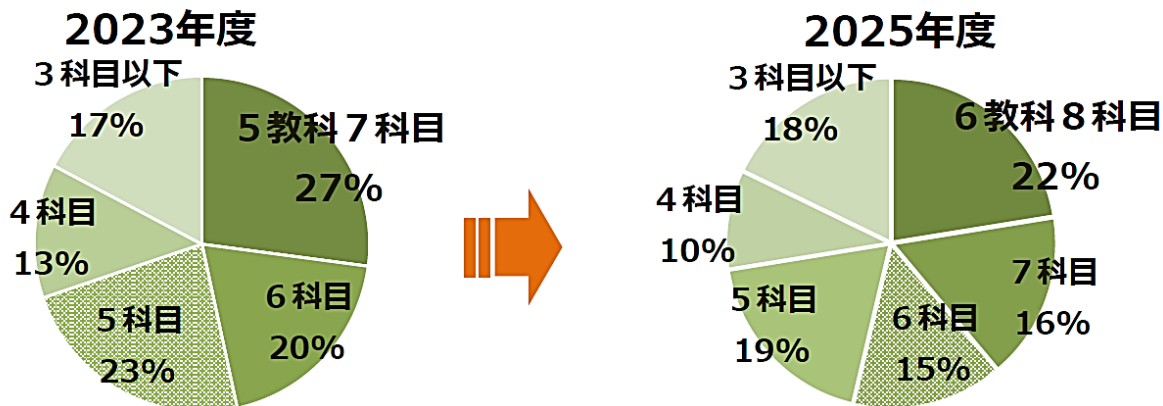
2025年度共通テスト 教科・科目数設定状況の変化

- ・国立大では多くが5教科7科目から6教科8科目に移行
- ・公立大は現行の教科・科目数を維持する大学があり、6教科8科目は約2割

国立大学



公立大学



※河合塾調べ、2025入試の数値は2023年3月末現在、大学公表の募集区分に基づき一般選抜前期日程で集計

- 前回改定の2015年度入試の方が変化は大きかった。
⇒ 共通テストの理科の文系2科目受験、理系の範囲拡大。
- 2025年度新課程入試は「情報」の追加以外の変化は入試的には実はそんなに大きくない。
 - 2021年度からの共通テストへの移行により、既にセンター試験と比較して出題内容・形式に大きな変化があった。
 - 国語、英語、理科は入試としては現行課程と同じ。
 - 数学は文理共通の範囲がやや広がる。(理系は同じ)
 - 地歴は科目名が変わる。「●●総合・○○探究」は旧「○○B」と見なす。ただし、歴史総合導入で近現代史は日本史・世界史の融合問題となる。
 - 共通テストの公民の「公共・□□」は『現代社会 + 「□□」』と考えればよい。



国公立大学および私立大学の状況

亀形石造物(奈良県明日香村／2024年2月2日) 齊明天皇により造営された天皇祭祀の跡か

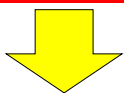
17 国公立大学の出願のイメージ

1月18日（土）・19日（日） 共通テスト

1月20日（月） 自己採点

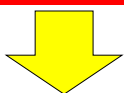
1月24日（金）・25日（土） データ返却

1月27日（月） 国公立大学 出願開始



2月 1日（土） 私立大学 一般選抜開始

2月 5日（水） 国公立大学 出願締切り



2月25日（月） 国公立大学 前期日程

3月 8日（土） 公立大学 中期日程

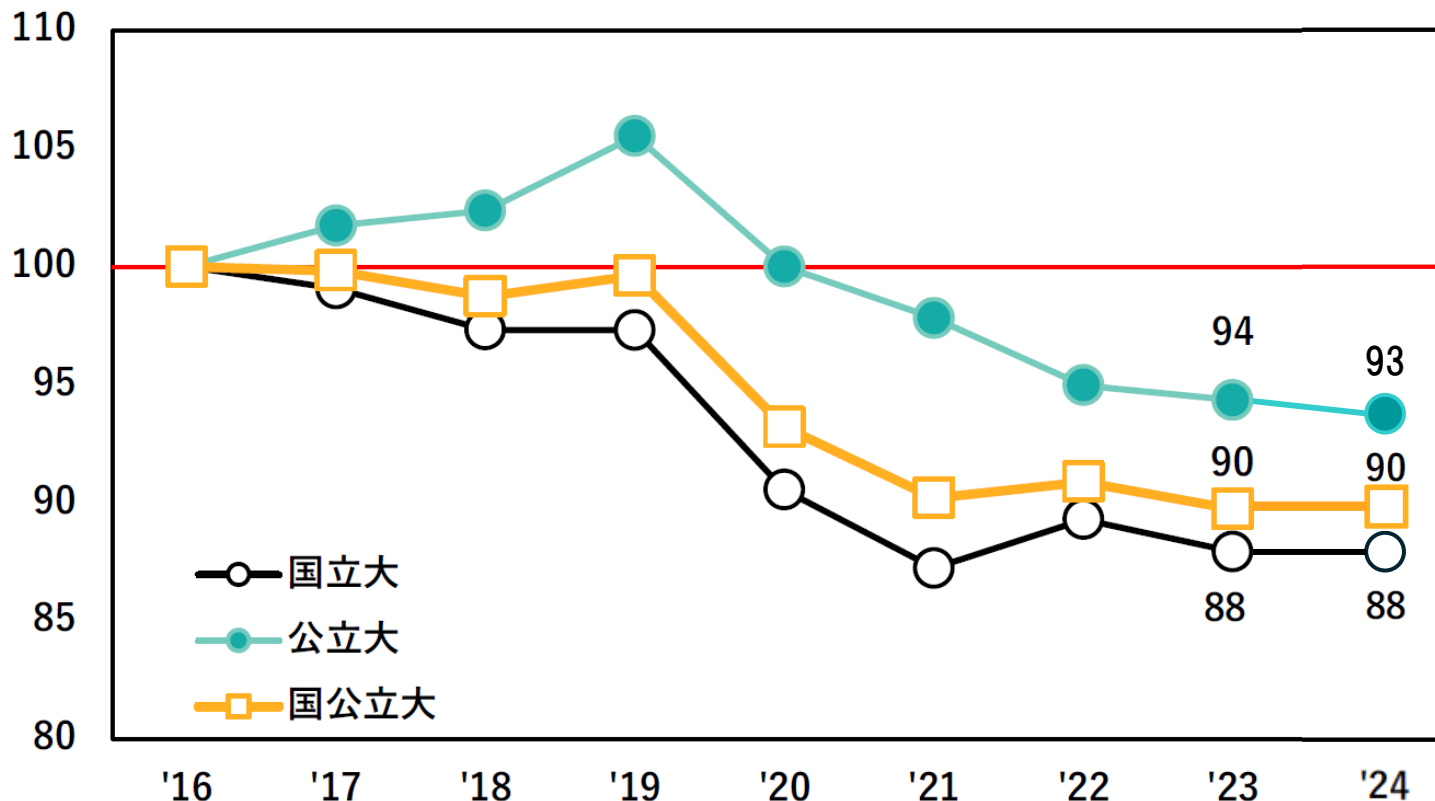
3月12日（水） 国公立大学 後期日程

出願したからには受験日程の最後となる国公立大の入試まで全て受験し切る。

- **私立大学の一般選抜が始まった直後に、国公立大学の出願が締め切られる点に注意。**この時点で私立大学の入試結果がどうなるのか誰にも予測できない。
- **特進選抜コースは当然として、特進コースの生徒も国公立大学に出願してみる。**
- **共通テスト3科目・4科目で受験できる国公立大学は首都圏・全国にたくさんある。**
- **東京で受験できる地方国公立大学も多くある。**
- **入試日程の一番最後に安価な受験料で、合格の可能性が高い受験校を増やすことができる。**

国公立大の一般選抜の志願者推移

(対'16指数)

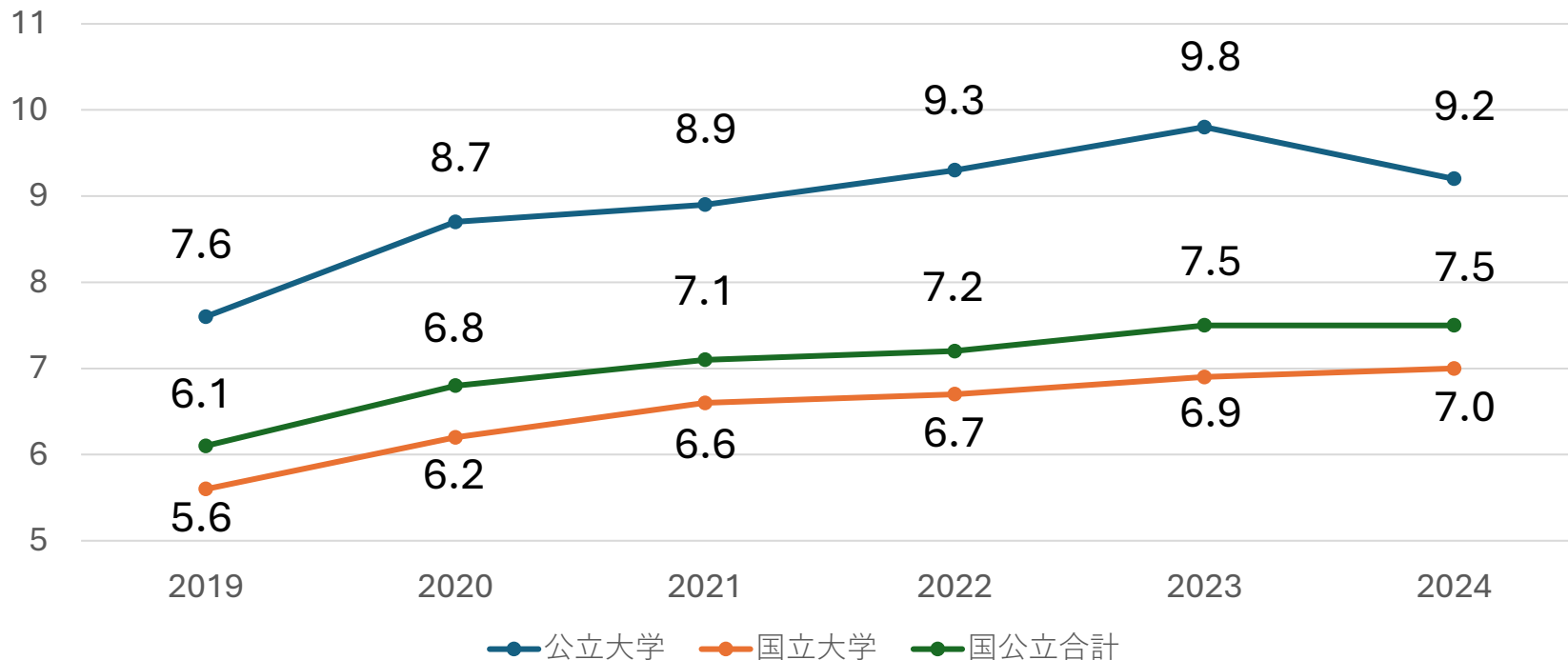


ベネッセ「2023年度 第1回出願指導WEB研究会 詳細分析レポート」、代々木ゼミナール「2024年度入試 国公立大学出願状況」

2023年度入試では国公立大学の志願者数が近年で最も減少したが、2024年度入試では最少の志願者数がほぼ維持された。志願者は漸次減少している。

国公立大学の前期日程も欠席率が上昇

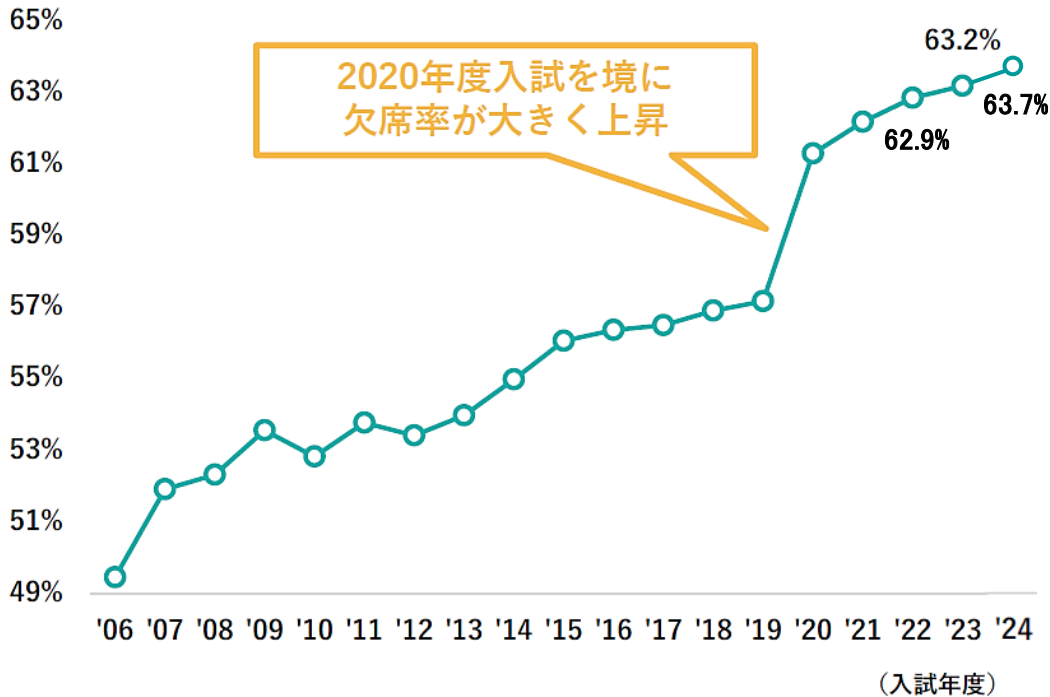
国公立大学 前期日程の欠席率



河合塾「2023年度入試情報 国公立大前期日程の受験状況」、文部科学省「前期日程第1時限目の受験状況」

- 前期日程の欠席率は徐々に上昇しており、2023年度入試の欠席率はこの10年間で最も高く、2024年度入試でも国公立合計では変化がなかった。
- 併願私立大学に合格したため受験を取りやめた受験生が特に都市部の公立大学に多く見られ、東京都立大学の欠席率が14.6%、横浜市立大学が13.1%だった。
- 共通テストを課す国公立大学の総合型選抜・学校推薦型選抜で合格したため欠席した。

国公立大の後期日程欠席率の推移



■ 2025年度の**後期日程**の入試日は3月12日(水)以降となり、合格発表日は3月20日(木)で卒業式の翌日となるが、**最後まで粘ってがんばれば、国公立大学の合格の可能性が高い。**

■ **最難関大学を中心に、後期日程を廃止している大学が増えているため、よく調べておかなければならない。**

	国立	公立	計
2023年度入試	62.7%	64.8%	63.2%
2024年度入試	63.5%	64.3%	63.7%

入試年度	コース	性別	国公立	大学	学部	学科	専攻	入試	日程	共通科目数	進学
2020	特進	女	国	東京学芸大学	教育	初等教育教員養成	理科	一般	後	7	○
2020	特進	女	国	国立看護大学校	看護	看護		一般			○
2021	特進	女	公	都留文科大学	教養	学校教育		一般	前	3	
2021	総合進学	男	公	長野県立大学	グローバルマネジメント	グローバルマネジメント		一般	中	3	
2022	特進	女	国	東京藝術大学	音楽	邦楽	邦楽	一般	前	2	○
2022	特進	男	国	信州大学	人文	人文		一般	前	3	○
2023	特進	女	国	信州大学	医	保健	看護	一般	後	7	
2023	特進	女	公	埼玉県立大学	保健医療	看護		一般	前	5	○
2023	特進	女	国	国立看護大学校	看護	看護		一般			
2023	特進	男	公	東京都立大学	法	法	法律学	一般	前	3	
2023	特進	男	公	横浜市立大学	国際商	国際商		一般	前	3	○
2023	特進	男	公	公立諏訪東京理科大学	工	機械電気工	先進機械	一般	前	4	
2023	特進	女	公	都留文科大学	文	英文		一般	中	3	
2024	特進	女	公	神奈川県立保健福祉大学	保健福祉	栄養	食物・栄養	一般	前	5	○
2024	特進	女	公	千葉県立保健医療大学	健康科学	看護	看護	公募制			○
2024	特進	男	公	公立諏訪東京理科大学	工	情報応用工	情報工学	一般	前	4	
2024	総合進学	女	公	高知工科大学	システム工		機械工学	一般	前	3	
2024	総合進学	男	公	県立広島大学	生物資源	地域資源開発	農学	一般	前	4	
2024	総合進学	女	公	福井県立大学	経済	経済	経済学	一般	前	3	
2024	総合進学	女	公	高知工科大学	データ&イノベーション		総合科学	一般	前	3	

- 共通テスト3科目・4科目で受験できる国公立大学は意外と多い。
- 私立大学専願者も安い受験料で受けられる国公立大学に出願すると良い。

	2023年			2024年			増減数	指数
	募集人数	志願者数	倍率	募集人数	志願者数	倍率		
総計	213,878	2,852,067	13.3	210,004	2,847,220	13.6	▼4,847	↔ 99.8%
一般選抜	174,152	2,081,242	12.0	171,660	2,056,169	12.0	▼25,073	↘ 98.8%
1回目	159,049	1,899,601	11.9	157,499	1,887,994	12.0	▼11,607	↘ 99.4%
2回目以降	15,103	181,641	12.0	14,161	168,175	11.9	▼13,466	↘ 92.6%
共通テスト利用	39,726	770,825	19.4	38,344	791,051	20.6	+20,226	↗ 102.6%
1回目	33,490	706,758	21.1	32,321	726,215	22.5	+19,457	↗ 102.8%
2回目以降	6,236	64,067	10.3	6,023	64,836	10.8	+769	↗ 101.2%
1/14以前出願	18,567	521,303	28.1	18,070	546,210	30.2	+24,907	↗ 104.8%
1/15以降出願	12,163	163,951	13.5	11,606	160,279	13.8	▼3,672	↘ 97.8%
2/14以前出願	3,861	39,065	10.1	3,695	36,528	9.9	▼2,537	↘ 93.5%
2/15以降出願	2,757	24,257	8.8	2,657	25,500	9.6	+1,243	↗ 105.1%
3月以降出願	2,378	22,249	9.4	2,316	22,534	9.7	+285	↗ 101.3%

指数＝前年度入試の志願者数を100%とした時の増減を示す数値。

代々木ゼミナール「2024年度入試 私大の出願状況」

- 2023/2024年度入試の指数が総計で99.8%、一般選抜で98.8%とほぼ変わらなかった。
- 2021年度入試で指数が大幅に志願者数が減少したことと合わせて考えれば、2024年度入試も志願状況が相当に緩和されていたことが分かる。
- 受験人口が減少しているのに出願者数が変わらなかったのは、新課程の共通テストに移行する前年となり、**受験生は安全志向から出願数を増やしたため**。
- 一般選抜で2回目以降の指数が低いのは、2月前半の1回目の入試で多くの受験生が合格して残っていないことを示す。**2月後半や3月の入試でも合格しやすくなっている。**

大 学	2023年			2024年			増減数	指数
	募集	志願者	倍率	募集	志願者	倍率		
早稲田・慶應義塾・上智	10,541	154,842	14.7	10,541	156,589	14.9	+1,747	↗ 101.1%
青山学院・学習院・中央・法政・明治・立教	21,352	395,129	18.5	21,287	401,170	18.8	+6,041	↗ 101.5%
国学院・成蹊・成城・武蔵・明治学院	6,287	92,238	14.7	6,317	99,827	15.8	+7,589	↗ 108.2%
獨協・駒澤・専修・東洋・日本・神奈川	21,314	302,979	14.2	21,362	304,874	14.3	+1,895	↗ 100.6%
工学院・芝浦工業・東京電機・東京都市・東京理科	8,145	165,629	20.3	8,039	167,441	20.8	+1,812	↗ 101.1%
津田塾・東京女子・日本女子	2,066	20,946	10.1	1,992	19,461	9.8	▼1,485	↘ 92.9%
大妻女子・学習院女子・共立女子・実践女子・昭和女子・白百合女子・聖心女子・清泉女子・東洋英和女学院・フェリス女学院	4,215	26,917	6.4	4,172	25,556	6.1	▼1,361	↘ 94.9%
文教・亜細亜・桜美林・国土館・大東文化・拓殖・玉川・帝京・東海・立正・関東学院	15,182	139,436	9.2	14,741	137,718	9.3	▼1,718	↘ 98.8%

代々木ゼミナール「2024年度入試 主要大学グループ別の集計」

■ 主要大学のグループの指数が上昇し、受験生が安全志向から旺盛に出願数を増やしたことが読み取れる。

■ 私立女子大学の志願者数の減少が著しい。

一般選抜における本校生徒1人あたりの平均出願数

入試年度	出願数	備考
2020年度	13.3	センター試験最終
2021年度	9.0	共通テスト初年度, コロナ禍初年度
2022年度	11.8	
2023年度	10.8	
2024年度	12.0	現行共通テスト最終

大学	2023年			2024年			増減数	指数
	募集人数	志願者数	倍率	募集人数	志願者数	倍率		
1 近畿	5,072	152,457	30.1	5,070	147,143	29.0	▼5,314	96.5%
2 千葉工業	1,396	145,128	104.0	1,345	142,645	106.1	▼2,483	98.3%
3 明治	5,329	108,042	20.3	5,246	109,159	20.8	+1,117	101.0%
4 東洋	5,445	87,090	16.0	5,490	102,898	18.7	+15,808	118.2%
5 法政	4,211	99,051	23.5	4,209	102,169	24.3	+3,118	103.1%
6 立命館	4,784	91,382	19.1	4,841	95,779	19.8	+4,397	104.8%
7 早稲田	5,135	90,879	17.7	5,135	89,420	17.4	▼1,459	98.4%
8 日本	7,542	98,506	13.1	7,432	75,839	10.2	▼22,667	77.0%
9 関西	3,724	77,699	20.9	3,724	72,664	19.5	▼5,035	93.5%
10 中央	4,321	67,786	15.7	4,302	65,993	15.3	▼1,793	97.4%
11 龍谷	2,907	61,083	21.0	2,902	59,994	20.7	▼1,089	98.2%
12 立教	3,144	58,208	18.5	3,179	56,495	17.8	▼1,713	97.1%
13 関西学院	3,406	43,737	12.8	3,406	52,624	15.5	+8,887	120.3%
14 東京理科	2,718	50,698	18.7	2,718	52,261	19.2	+1,563	103.1%
15 専修	2,595	44,918	17.3	2,611	51,289	19.6	+6,371	114.2%
16 同志社	3,797	49,972	13.2	3,793	50,974	13.4	+1,002	102.0%
17 青山学院	2,998	43,948	14.7	2,995	47,109	15.7	+3,161	107.2%
18 名城	2,138	38,719	18.1	2,133	42,649	20.0	+3,930	110.2%
19 福岡	3,041	41,785	13.7	3,024	41,941	13.9	+156	100.4%
20 慶應義塾	3,656	37,411	10.2	3,656	37,600	10.3	+189	100.5%
21 芝浦工業	1,364	36,687	26.9	1,267	35,384	27.9	▼1,303	96.4%
22 東京電機	1,664	33,124	19.9	1,664	35,293	21.2	+2,169	106.5%
23 東海	3,780	37,091	9.8	3,660	34,096	9.3	▼2,995	91.9%
24 武蔵野	1,578	30,314	19.2	1,622	33,535	20.7	+3,221	110.6%
25 駒澤	2,011	30,703	15.3	2,125	30,893	14.5	+190	100.6%
26 京都産業	1,969	38,275	19.4	1,969	30,470	15.5	▼7,805	79.6%
27 上智	1,750	26,552	15.2	1,750	29,569	16.9	+3,017	111.4%
28 東京都市	1,305	24,644	18.9	1,297	26,340	20.3	+1,696	106.9%
29 中京	1,713	26,479	15.5	1,704	24,857	14.6	▼1,622	93.9%
30 明治学院	1,848	23,203	12.6	1,903	23,055	12.1	▼148	99.4%

■ **法政大学と東洋大学**が志願者数を増加させたのは、2023年度入試で大幅に減少させた反動である。

■ **立教大学**の志願者が減少したのは3年連続であり、一般選抜で共通テストの英語か、英語外部検定のスコアが必要となるため、私立大学専願者に負担となり敬遠された。

■ **青山学院大学**の志願者数が増加したのは、前年度に大幅に減少した反動のため。

■ **上智大学**が出願者数を大幅に増加させたのは、2023年度入試から導入した共通テスト利用入試(3科目)に志願者が集中したため。

系 統	2023年			2024年			増減数	指数
	募集人数	志願者数	倍率	募集人数	志願者数	倍率		
法・政治	20,998	256,963	12.2	20,790	261,428	12.6	+4,465	101.7%
法律	14,132	174,749	12.4	13,998	172,183	12.3	▼2,566	98.5%
政治・政策	6,866	82,214	12.0	6,792	89,245	13.1	+7,031	108.6%
経済・経営・商	45,493	657,077	14.4	44,767	631,573	14.1	▼25,504	96.1%
経済	18,833	277,219	14.7	18,629	266,742	14.3	▼10,477	96.2%
経営・商	26,660	379,858	14.2	26,138	364,831	14.0	▼15,027	96.0%
社会	9,884	134,620	13.6	9,828	140,911	14.3	+6,291	104.7%
福祉	3,646	25,088	6.9	3,396	26,291	7.7	+1,203	104.8%
心理	5,220	67,942	13.0	5,215	65,451	12.6	▼2,491	96.3%
人文	28,478	321,868	11.3	27,608	331,076	12.0	+9,208	102.9%
外国文学・語学	12,875	122,146	9.5	12,323	125,947	10.2	+3,801	103.1%
日本文学・語学	4,979	57,518	11.6	4,830	60,362	12.5	+2,844	104.9%
史	4,377	60,035	13.7	4,382	62,545	14.3	+2,510	104.2%
哲	1,898	21,099	11.1	1,870	22,534	12.1	+1,435	106.8%
文化	4,349	61,070	14.0	4,203	59,688	14.2	▼1,382	97.7%
教育・児童・子ども	8,042	72,327	9.0	7,513	73,639	9.8	+1,312	101.8%
人間・健康	2,469	23,079	9.3	2,381	23,970	10.1	+891	103.9%
総合情報	3,399	49,621	14.6	3,616	66,281	18.3	+16,660	133.6%
環境	938	12,597	13.4	927	13,459	14.5	+862	106.8%
国際	9,103	91,368	10.0	9,067	92,026	10.1	+658	100.7%
芸術	5,031	39,678	7.9	5,058	39,826	7.9	+148	100.4%
美術	4,271	38,100	8.9	4,303	38,303	8.9	+203	100.5%
音楽	760	1,578	2.1	755	1,523	2.0	▼55	96.5%
体育	3,618	29,683	8.2	3,245	30,045	9.3	+362	101.2%

代々木ゼミナール「2024年度 学部・学科の系統別集計」

系 統	2023年			2024年			増減数	指数
	募集人数	志願者数	倍率	募集人数	志願者数	倍率		
理工	41,197	792,310	19.2	40,606	773,224	19.0	▼19,086	97.6%
理学系	7,865	133,758	17.0	7,774	133,214	17.1	▼544	99.6%
数・情報	3,328	57,789	17.4	3,318	54,912	16.5	▼2,877	95.0%
物理・地学	1,533	28,874	18.8	1,534	28,828	18.8	▼46	99.8%
化	1,033	17,554	17.0	1,023	17,048	16.7	▼506	97.1%
生物・生命	1,971	29,541	15.0	1,899	32,426	17.1	+2,885	109.8%
工学系	33,332	658,552	19.8	32,832	640,010	19.5	▼18,542	97.2%
機械	6,671	134,780	20.2	6,513	131,919	20.3	▼2,861	97.9%
電気・情報	11,450	233,493	20.4	11,348	223,083	19.7	▼10,410	95.5%
化・材料	3,617	73,874	20.4	3,522	73,590	20.9	▼284	99.6%
建築	4,127	80,907	19.6	4,103	79,898	19.5	▼1,009	98.8%
土木・環境	2,639	41,660	15.8	2,583	40,822	15.8	▼838	98.0%
生物・生命	1,900	35,860	18.9	1,876	33,874	18.1	▼1,986	94.5%
その他	2,928	57,978	19.8	2,887	56,824	19.7	▼1,154	98.0%
農水産	5,715	71,642	12.5	5,617	74,857	13.3	+3,215	104.5%
獣医	454	12,998	28.6	459	13,681	29.8	+683	105.3%
農水産	5,261	58,644	11.1	5,158	61,176	11.9	+2,532	104.3%
医	1,745	50,944	29.2	1,697	58,057	34.2	+7,113	114.0%
歯	256	1,927	7.5	261	1,797	6.9	▼130	93.3%
薬	4,351	45,290	10.4	4,239	42,877	10.1	▼2,413	94.7%
看護	4,319	40,465	9.4	4,219	36,916	8.7	▼3,549	91.2%
保健	4,048	32,248	8.0	4,004	30,592	7.6	▼1,656	94.9%
リハビリ	1,953	15,050	7.7	1,878	13,973	7.4	▼1,077	92.8%
リハビリ以外	2,095	17,198	8.2	2,126	16,619	7.8	▼579	96.6%
生活	5,928	35,330	6.0	5,950	32,924	5.5	▼2,406	93.2%
食物・栄養	3,945	23,706	6.0	3,993	22,742	5.7	▼964	95.9%
食物・栄養以外	1,983	11,624	5.9	1,957	10,182	5.2	▼1,442	87.6%

「文低理高」の傾向が数年間続いてきたが、文系学部の志望者が増加した。

総合型選抜・学校推薦型選抜の状況

飛鳥寺釈迦如来像（奈良県明日香村／2024年2月2日） 日本最古の仏像

早期選抜に関する校内の予定

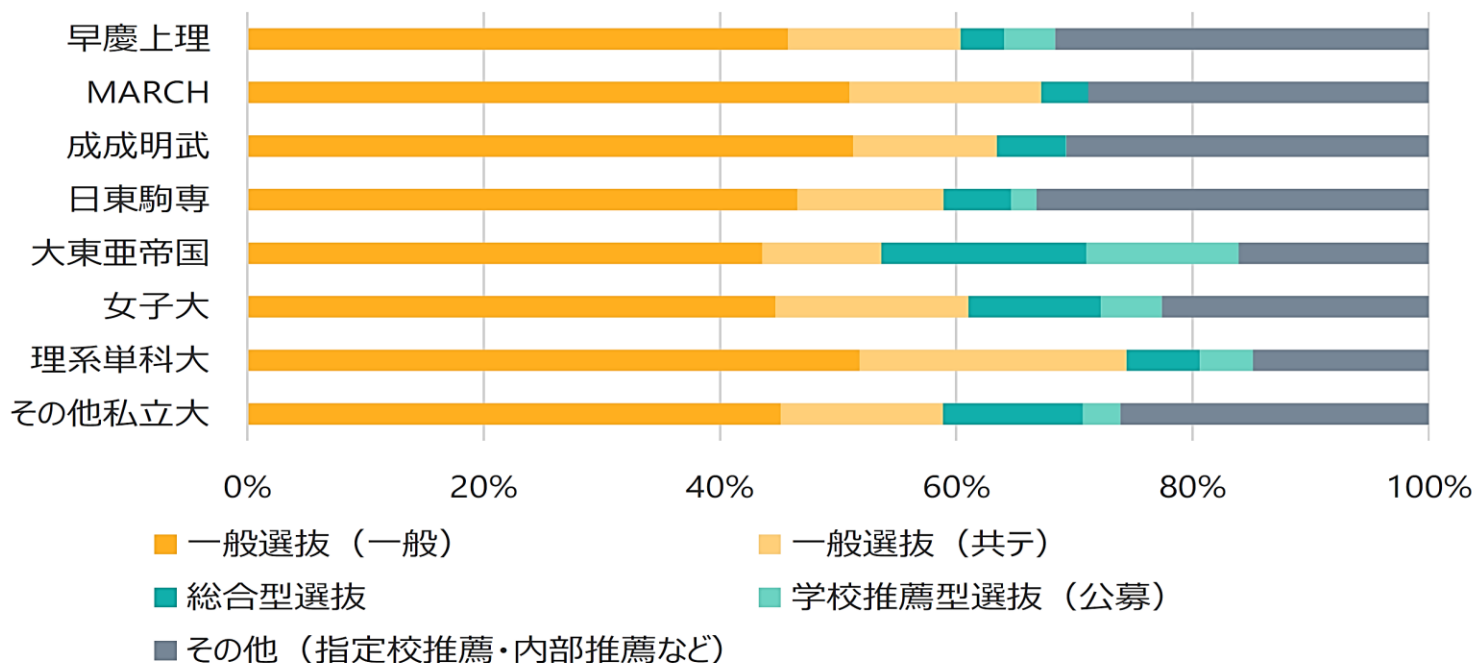
月	日	曜	予 定
4	17	水	「早期選抜受験申請書」の配付／一般選抜・早期選抜の日程説明
5	21	火	前期到達度評価試験〔－5月22日(水)〕
6	12	水	「早期選抜受験申請書」(裏面)の生徒から担任への提出締め切り
6	19	水	「早期選抜受験申請書」(裏面)の担任から進路部への提出締め切り
6	25	火	前期期末試験〔－6月28日(金)〕
7	8	月	「2024年度指定校制推薦一覧」の発表
7	10	水	学校長推薦者認定会議
7	12	金	三者面談〔－7月19日(金)〕
7	20	土	第1回「早期選抜受験申請書」〈指定校制推薦・総合型選抜〉の提出締め切り
8	2	金	第1回学校長推薦者選考会議〈指定校制推薦・総合型選抜〉
8	23	金	第2回「早期選抜受験申請書」〈指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜〉の提出締め切り
8	29	木	第2回学校長推薦者選考会議〈指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜〉
9	1	日	総合型選抜の出願開始
9	4	水	第3回「早期選抜受験申請書」〈指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜〉の提出締め切り
9	7	土	第1回学校長推薦者講習会〈指定校制推薦〉〔保護者同伴〕
9	11	水	第3回学校長推薦者選考会議〈指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜〉
9	28	土	第2回学校長推薦者講習会〈指定校制推薦〉〔保護者同伴〕
11	1	金	学校推薦型選抜の出願開始，総合型選抜の合格発表開始
12	1	日	学校推薦型選抜の合格発表開始

総合型選抜・学校推薦型選抜で不合格になると一般選抜の対策へと急に転換するのは非常に困難となる。早期選抜の準備と並行して一般選抜向けの学習を進めなければならない。

2020年度入試	出願数	合格数	合格率				
A0	50	25	50.00%				
指定校制	54	54	100%				
公募制	60	38	63.33%				
2021年度入試	出願数	合格数	合格率	2022年度入試	出願数	合格数	合格率
総合型	118	65	55.08%	総合型	88	51	57.95%
指定校制	71	71	100%	指定校制	79	78	98.73%
公募制	47	24	51.06%	公募制	55	27	49.09%

	校種	2023年度入試			2024年度入試		
		出願数	合格数	合格率	出願数	合格数	合格率
総合型	全体	139	87	62.58%	118	72	61.01%
	国公立	14	5	35.71%	4	1	25.00%
	私立	125	81	64.80%	114	71	62.28%
	早慶上理 GMARCH	15	5	33.33%	27	7	25.92%
指定校制	私立	92	91	98.01%	75	75	100.00%
公募制	全体	72	34	47.22%	55	31	56.36%
	国公立	32	9	28.12%	21	10	47.61%
	私立	40	25	62.50%	34	20	58.82%
	早慶上理 GMARCH	11	5	45.45%	7	2	28.57%

私立大学の募集人員割合



首都圏の主要私立大では、一般選抜が60%前後を占める（全国平均は約40%）。

※ベネッセ調べ。大学HPをもとに作成。募集人員が明記されていない（「若干名」など）入試を含まないため、割合は推定

ベネッセ「2023年度 第1回出願指導WEB研究会 2024年度入試に向けて」

- **上位・中堅の私立大学における総合型選抜・公募制推薦の募集人員は10%程度しかなく、一般選抜の定員が約60%と最大になっている。**
- **上位・中堅大学以外は総合型・学校推薦型選抜で学生を獲得しようとする傾向が強い。**

- ① 全ての入試方式で調査書等の出願書類だけでなく、小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、教科・科目に関わるテスト、資格・検定試験等の成績、共通テストといった学力的要素が求められる。
- ② 総合型選抜と公募制推薦には「専願」と「併願可能」の大学・短期大学・専門学校がある。「専願」の学校に合格したら、その学校に入学しなければならない。
- ③ 「専願」の大学・専門学校を2校以上受験する場合、1校目の学校の合格発表が行われた後でなければ、2校目の学校に出願することができない。
- ④ 総合型選抜や公募制推薦の「併願可能」の大学に合格して安全校を確保し、一般選抜で挑戦校・実力相応校の大学に挑戦する方法が定着した。ただし入学金を払い込まなければならない。

- ⑤英語外部検定のスコアを要求してくる大学が増えている。前年度には提示していなくても、突然、課してくる例が多い。CBTも活用して受検の機会を増やし、英検ならば準1級か2級を取得したい。
- ⑥国公立大学の早期選抜においては、共通テストを課して合否を判断することが多くなってきた。
- ⑦コロナウイルスの影響が縮小しても、2024年度入試ではZoomによる面接試験が行われた。オンラインによる面接試験の場合、生徒は基本的に自宅で受験する。
- ⑧オープンキャンパスの参加を出願条件にしている大学がある。予約制の場合はHPから確実に予約する。そのため毎日のように志望校のHPを見る。

早期選抜受験申請書(表面) 4月17日(水)配付

東洋高等学校 早期選抜受験申請書
 学校長 石井和彦 殿 【学校推薦型選抜 / 総合型選抜】 西暦 年 月 日

□: 確認チェック欄 3年 組 番 生徒氏名 保護者氏名

私は下記への進学を希望し、保護者連署の上、早期選抜受験を申請致します。なお、指定校制推薦に出席する上は、公募制推薦・総合型選抜には出席しないことを誓約いたします。

◆ 学校推薦型<指定校制>選抜 学校長推薦願 ◆

- 学校推薦型<指定校制>選抜【専願】にご推薦いただきました上は、学校長推薦者としての自覚と責任を持って、本校の代表者として進学先でも十分に実力を発揮するために、最善の努力を尽くすことを誓約致します。
- 下記志望校に選考された場合、唯一の出願先として受験し、合格した際は速やかに入学手続を行うことを誓約致します。
- 合格後は、合格校からの課題および本校が課す指定校制推薦合格者確認試験に最優先して取り組むことを誓約致します。
- 別添資料として志望校の一試要項(入試要項)のコピーと、場合によっては英語外部検定のスコアを担任に提出します。担任から進路部に提出する際には確認の結果のコピーが加わります。

志望順	大学・専門学校	学部・学群	学科・学類	コース・専攻	専願/併願	備考	選考結果
1	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願 併願		◎推薦校記入
2	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願 併願		◎推薦校記入
3	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願 併願		◎推薦校記入

◆ 学校推薦型<指定校制 以外>選抜 学校長推薦願 ◆

- 下記志望校への出願は、上欄の指定校制推薦で選考されなかった場合に限って行うことを誓約致します。
- 専願は原則として1校のみ出願すること、また合格の際は速やかに入学手続を行うことを誓約致します。
- 専願校と併願校が同時合格した場合、志望順位に関わらず、専願の志望校に入学することを誓約致します。
- 別添資料として志望校の一試要項のコピーと、場合により英語外部検定のスコアを担任に提出致します。国公立大学を志望する場合、担任から進路部に提出する際には確認の結果のコピーが加わります。

志望順	大学・専門学校	学部・学群	学科・学類	コース・専攻	専願/併願	備考	選考結果
4	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
5	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
6	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
7	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
8	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入

◆ 総合型選抜 受験申請書 ◆

- 下記志望校への出願は、指定校制推薦で選考されなかった場合に限って行うことを誓約致します。
- 専願は原則として1校のみ出願すること、また合格の際は速やかに入学手続を行うことを誓約致します。
- 専願校と併願校が同時合格した場合、志望順位に関わらず、専願の志望校に入学することを誓約致します。
- 別添資料として、志望校の入試要項のコピーと、場合により英語外部検定のスコアを担任に提出致します。

志望順	大学・専門学校	学部・学群	学科・学類	コース・専攻	専願/併願	備考	選考結果
9	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
10	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
11	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
12	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入
13	大学 専門学校	学部 学群	学科 学類	コース 専攻	専願/ 併願		◎推薦校記入

早期選抜 受験申請書 申請上の留意点

□: 確認チェック欄

<< 学校推薦型<指定校制>選考基準について >>

- 大学の出願要件(評定、英語外部検定ほか)を満たしていることを誓約致します。
- 本校の申請基準(下記 a, b, c)を、高211月模試以降の模試で2回以上、超えていることを誓約致します。
 - a) 志望学科の判定偏差値が60以上の場合、受験3教科の平均偏差値が【55】以上
 - b) 志望学科の判定偏差値が55以上の場合、受験3教科の平均偏差値が【50】以上
 - c) 志望学科の判定偏差値が上記ab以外の場合、受験3教科の平均偏差値が【40】以上
- 学校推薦型<指定校制>選抜は、本校卒業生が進学先で高く評価され成立していることを深く理解し、申請者は志望校に合格・進学した際には本校と進学先とのさらなる関係向上に専念できるよう、不断の努力を尽くすことを誓約致します。
- 下記の早期選抜スケジュールを確認したことを誓約致します。

※0月判定偏差値は一般選抜合格率が90%の成績を示す。その成績は【前年度末(11月模試)】とする。

<< 早期選抜スケジュール >>

月	日	予 定
高2	3/30	【早期選抜 受験申請書(志望理由・自己推薦)下書き】の提出
高3	4/10	2023年度「指定校制推薦一覧」の設置
	4/17	【早期選抜受験申請書】の配付
	6/12	担任への提出締め切り【早期選抜受験申請書(志望理由・自己推薦等)】
	6/19	進路部への提出締め切り【早期選抜受験申請書(志望理由・自己推薦等)】
	7/8	2024年度「指定校制推薦一覧」(2025年度入試用)の発表
	7/10	学校長推薦者認定会議
	7/12	三者面談中【早期選抜受験申請書(指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜)】の申請校を確認
	7/20	第1回提出締め切り【早期選抜受験申請書(指定校制推薦・総合型選抜)】
	8/2	第1回学校長推薦者選考会議(指定校制推薦・総合型選抜)
	8/23	第2回提出締め切り【早期選抜受験申請書(指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜)】
	8/29	第2回学校長推薦者選考会議(指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜)
	9/1	総合型選抜の出願開始
	9/4	第3回提出締め切り【早期選抜受験申請書(指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜)】
	9/7	第1回学校長推薦者講習会(指定校制推薦)【保護者同伴】
	9/11	第3回学校長推薦者選考会議(指定校制推薦・公募制推薦・総合型選抜)
	9/29	第4回学校長推薦者講習会(指定校制推薦)【保護者同伴】
	11/1	学校推薦型選抜(指定校制推薦・公募制推薦)の出願開始、総合型選抜の合格発表開始
	12/1	学校推薦型選抜(指定校制推薦・公募制推薦)の合格発表開始
	1/18	大学入学生進学テスト ※志望校に合格した際でも受験します

<< 取得済み 資格 >>

- 別添資料として、半書で申請した志望校から求められている資格の【合格証明書】のコピー(A4 or A3判A)を提出致します。
- なお、スコアのみを申請する場合は、【個人成績表(不合格でも可)】のコピー(A4 or A3判A)を提出致します。

資料番号	資格取得年月日(西暦)	C E F R	スコア	資格名(合格した場合)
高1	高2	/	/	<input type="checkbox"/> 合格
	高3			<input type="checkbox"/> 不合格
高1	高2	/	/	<input type="checkbox"/> 合格
	高3			<input type="checkbox"/> 不合格
高1	高2	/	/	<input type="checkbox"/> 合格
	高3			<input type="checkbox"/> 不合格
高1	高2	/	/	<input type="checkbox"/> 合格
	高3			<input type="checkbox"/> 不合格

実用英語技能検定 □1級 □準1級 □2級 □準2級 □3級

GTEC □CBT □Advanced □Basic □Core

IELTS □TEAP □TEAP CBT □TOEFL iBT

□ケンブリッジ英語検定

以下、担任記入欄

項目	国語	地歴	公民	数学	理科	英語	全教科
2年次まで							
3年次 前期まで							

項目	欠席	遅刻	早退	欠課	欠課換算時間	担任印	進路印	校長印
2年次まで	日	回	回	時間	時間			
3年次 前期まで	日	回	回	時間	時間			

志望理由書

学びたい学問領域・将来就きたい職業・やってみたいこと

行	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

裏

高校生活で自分を成長させた経験

～ポートフォリオ～

①	内容： 学んだこと：
②	内容： 学んだこと：
③	内容： 学んだこと：

面

自己推薦文


(人物・学業・課外活動など)

行	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

3年 組 番 生徒氏名

- ① 指定校制推薦は合格の可能性が高いが、合格が保証されている訳ではない。過去3年間には学力不足で不合格となった生徒がいた。一般選抜に向けても学習を進めなければならない。
- ② 指定校制推薦は全て「専願」である。学校長推薦者選考会議で選ばれたら辞退することはできない。決定した大学・短期大学・専門学校を必ず受験し、合格して入学しなければならない。
- ③ 指定校制推薦でも全ての大学の入試で学力的要素が問われる。上位大学の入試は専門分野に特化して難しいものが多い。生徒が自ら新聞や書籍で事前に自調自考しておかなければ太刀打ちできない。専門分野に関係する教科の教員に相談してみると良い。

- ④指定校制推薦の生徒は大学入学後に追跡調査が行われる。近年も成績不良で大学からクレームが寄せられたり、学力不足で大学の授業についていけず退学を余儀なくされることがあった。
- ⑤成績不良の学生がいる場合、次年度の指定校制推薦の枠を喪失する可能性が高くなる。
- ⑥大学入学後の基礎学力を保証するため、12月から3月にかけて指定校制推薦の全受験者を対象にし、3科目による確認テストを3回実施する予定である。全科目2回合格しなければならない。
- ⑦指定校制推薦で合格した生徒および保護者等の認識が極めて甘いことがあり、一昨年度は2名の生徒が重大な校則違反により学校長推薦を取り消された。



学費・合格の鉄則・アンケート

橘寺本堂(奈良県明日香村／2024年2月2日) 聖徳太子が生誕した橘宮の跡

受験料・入学金を用意する

- 受験生・保護者等が**安全志向**だと、何が何でも合格を得ようとする心理から、**出願数を増やす傾向がある。**
- 2020年度入試はセンター試験が最終年度だったため、東洋生は一般選抜で1人あたり平均13.8回分出願していた。
- **2025年度入試は新課程最初となるため、安全志向で出願数を増やすと予想される。**

- 共通テストの受験料は**18,000円** / 国公立大学の受験料は**17,000円**。
- 私立大学の学部個別入試の受験料は**35,000円**が多い。
- 私立大学の共通テスト利用入試は**10,000～20,000円**。
- 私立大学を学部個別入試7回、共テ利用入試3回、国立大学を前期・後期の2回受験したら
共通テスト18,000円 + 私立大学35,000円 × 7回 + 私立大学20,000円 × 3回 + 国立大学17,000円 × 2回 = 357,000円
- 同一の大学を複数回受験すると割引になることがある。

- 最近は少なくなったが、3月の後半に志望順位の高い大学から繰上合格の通知が来ることもある。
- 志望順位の低い大学に入学金を納めたにもかかわらず、後から志望順位の高い大学の繰上合格の通知が来ると、入学金を2度払い込むことになる。
入学金200,000円 × 2回 = 400,000円

千葉大学 (どの学部も同じ)

◎初年度納付金	924,960円
○入学料	282,000円
○授業料	642,960円
◎2年目納付金	642,960円
◎3年目納付金	642,960円
◎4年目納付金	642,960円
■学費合計	2,853,840円

GMARCH理工学部

◎初年度納付金	1,824,000円
○入学金	240,000円
○授業料	1,172,000円
○その他費用	412,000円
◎2年目納付金	1,578,000円
◎3年目納付金	1,578,000円
◎4年目納付金	1,608,000円
■学費合計	6,588,000円

❑ 東京工業大学・千葉大学・東京藝術大学・東京医科歯科大学・一橋大学・東京外国語大学・東京農工大学は独自に学費を値上げした。

❑ 日程的に先に合格した私立大学で入学金を支払ってしまったとしても、後で合格した国公立大学に進学した方が、4年間のトータルでは学費がかなり安く済む。国公立大学の後期日程まで粘って受験を続けるべきである。

埼玉県立大学 (どの学部も同じ)

◎初年度納付金	1,044,000円
(埼玉県居住者)	832,500円)
○入学金	423,000円
(埼玉県居住者)	211,500円)
○授業料	621,000円
◎2年目納付金	621,000円
◎3年目納付金	621,000円
◎4年目納付金	621,000円
■学費合計	2,977,000円
(埼玉県居住者)	2,635,500円)

※国公立大学は実習費がかからない

私立大学看護学科

◎初年度納付金	1,904,100円
○入学金	300,000円
○授業料	1,000,000円
○施設費	300,000円
○維持費	150,000円
○諸費	154,100円
◎2年目納付金	1,604,100円
◎3年目納付金	1,604,100円
◎4年目納付金	1,604,100円
■学費合計	6,716,400円

■ 公立大学の場合、大学の所在地に居住していると、入学金が半額になる。

■ 東京都立大学は2024年度から、学生の生計維持者が都内在住の場合、所得制限なく授業料を全額免除することとした。

横浜国立大学 (どの学部も同じ)

◎初年度納付金	817,800円
○入学料	282,000円
○授業料	535,800円
◎2年目納付金	535,800円
◎3年目納付金	535,800円
◎4年目納付金	535,800円
■学費合計	2,425,200円

GMARCH経営学部

◎初年度納付金	1,324,000円
○入学金	200,000円
○授業料	891,000円
○教育充実料等	233,000円
◎2年目納付金	1,124,000円
◎3年目納付金	1,124,000円
◎4年目納付金	1,154,000円
■学費合計	4,726,000円

- 国立大学は基本的に全国どの大学も一律で、医学部でも何でも学部・学科に関係なく同じ学費。
- 3科目か4科目で受験できる国公立大学もたくさんある。特進コースの生徒も国公立大学に挑戦して欲しい。
- 昨年度は特進コース・総合進学コースの生徒が7つの国公立大学に合格し、そのうち2人が進学した。

信州大学（どの学部も同じ）

◎初年度納付金	817,800円
○入学金	282,000円
○授業料	535,800円
◎2年目納付金	535,800円
◎3年目納付金	535,800円
◎4年目納付金	535,800円
■学費合計	2,425,200円
■4年間の仕送り（1ヵ月63,000円）	3,024,000円
※仕送り額は大学HPによる	
□4年間の総経費	5,449,200円

GMARCH理工学部

◎初年度納付金	1,824,000円
○入学金	240,000円
○授業料	1,172,000円
○その他費用	412,000円
◎2年目納付金	1,578,000円
◎3年目納付金	1,578,000円
◎4年目納付金	1,608,000円
■学費合計	6,588,000円

- 特に理系は地方の国公立大学に進学した方が、経費がかからずに済むことが多い。
- 学生寮などを利用すればさらに経費がかからずに済む。

① 4・4・2, または5・5・3 (挑戦校・実力相応校・安全校)の割合で
バランスよく受験する。 DE判定 BC判定 A判定

② 粘り強く受験に臨む。目標を高く持ち途中で第1志望を下げない。
受験科目を減らさない。絶対に最後まであきらめない。

③ 志望理由を明確にし、自調自考—自分でよく調べて考え続ける。

④ 英語を最も重視し学習の中心に据える。入試は英語で差がつく。

⑤ 英語外部検定を受検してスコアを伸ばす。英検ならば準1級・2
級の合格を目指し、CBTを利用して受検の機会を増やす。

⑥新課程の入試初年度で全国の高3生は安全志向から出願数を増加させる。こちらも出願数を増やさなければ合格できない。

⑦国公立大学は首都圏のみならず、必ず地方の大学を含めて共通テストの結果を想定し、4段階で受験校を考える。

⑧国公立大学は特に後期日程の欠席者が多く、合格の可能性が非常に高い。出願して最後の1校まで全て受験し切る。

⑨特進コースの生徒は、共通テスト3科目・4科目で受験できる国公立大学を調べて受験する。

⑩保護者等・生徒の間で、出願をするかしないかで悩むのではなく、合格してから、入学するか、しないかで悩む。

⑪早期選抜に向けて活動実績をさらに積み上げる。

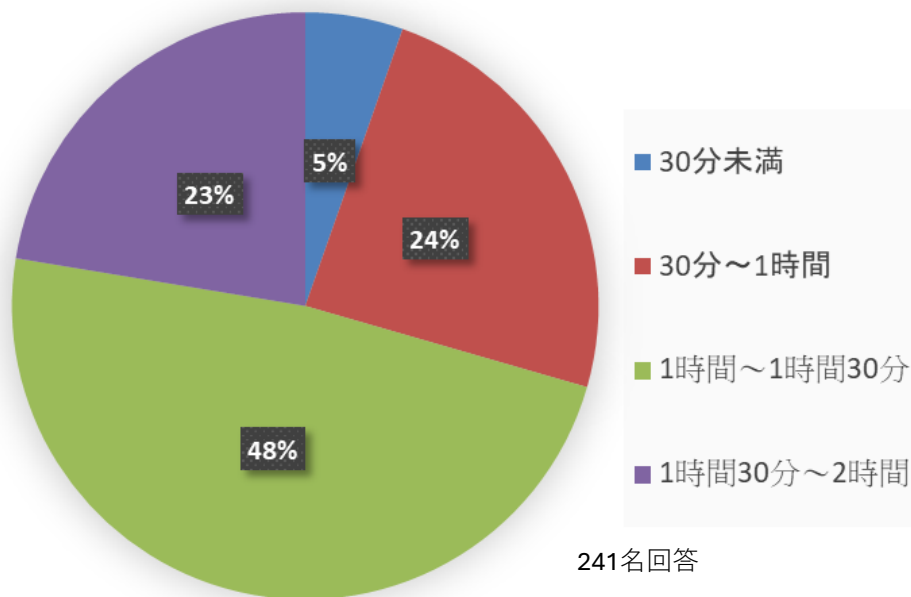
⑫欠席・遅刻をしない。交通機関の遅延を言い訳にしない。

⑬朝は早く登校して教室で自習し、放課後は学校の自習室で学習する。学校で自習する生徒は難関大学に合格してきた。

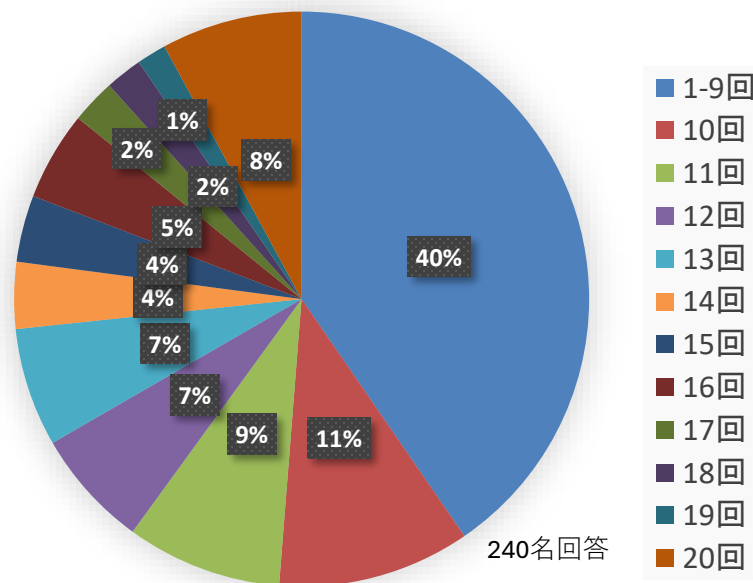
⑭進学は生徒自身の一生に関わる重大事である。自主的・主体的に行動して、むやみに保護者等に頼らない。

⑮受験料および学費を保護者等に確保していただく。繰上合格で入学金を2度支払うことがありうる。

自宅から通学する場合、通学時間は最大どれくらいならば可能だと考えていましたか。



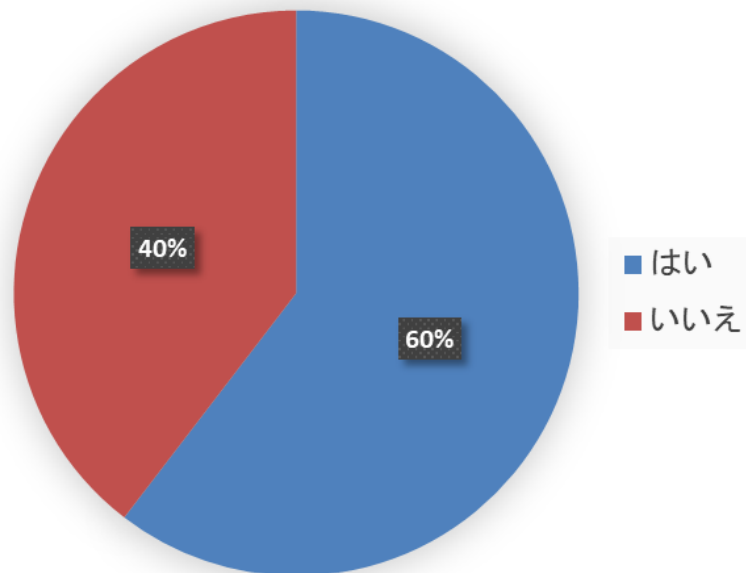
合計して何回分の入試に出願しましたか。



早慶上理・GMARCHの合格率

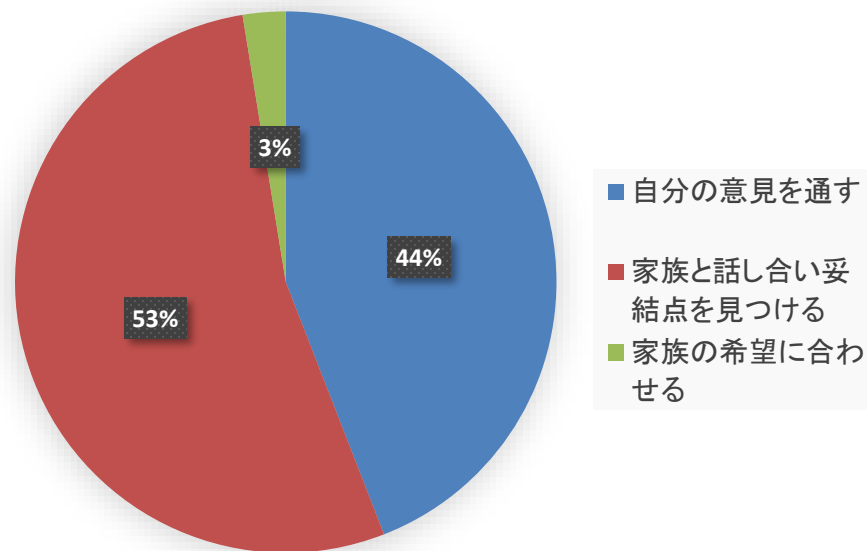
1-9回	21.64%
10回以上	34.26%

英検やGTECなど、英語外部検定を利用した入試を受験しましたか。



240名回答

家族とあなたの間で進路に関する意見が異なった場合、どのようにしていましたか。

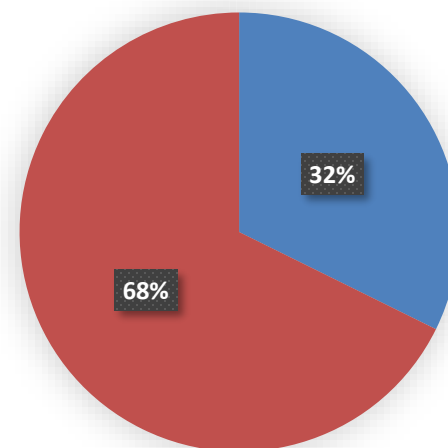
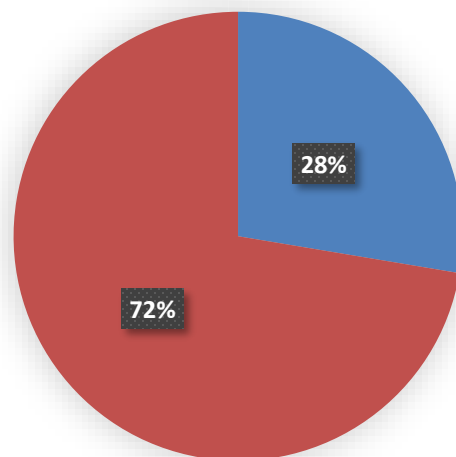
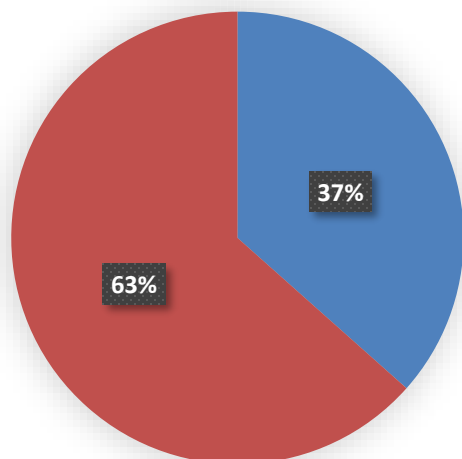


313名回答

東洋高校で授業があった日(HRだけの日も含む)の放課後には主にどこで勉強していましたか。

夏期休暇中には主にどこで勉強していましたか。

12月5日からの家庭学習期間には主にどこで勉強していましたか。



257名回答

■ 東洋高校の自習室 ■ その他

早慶上理・GMARCH
合格生徒

東洋自習室 34.04%
その他 25.15%

早慶上理・GMARCH
合格生徒

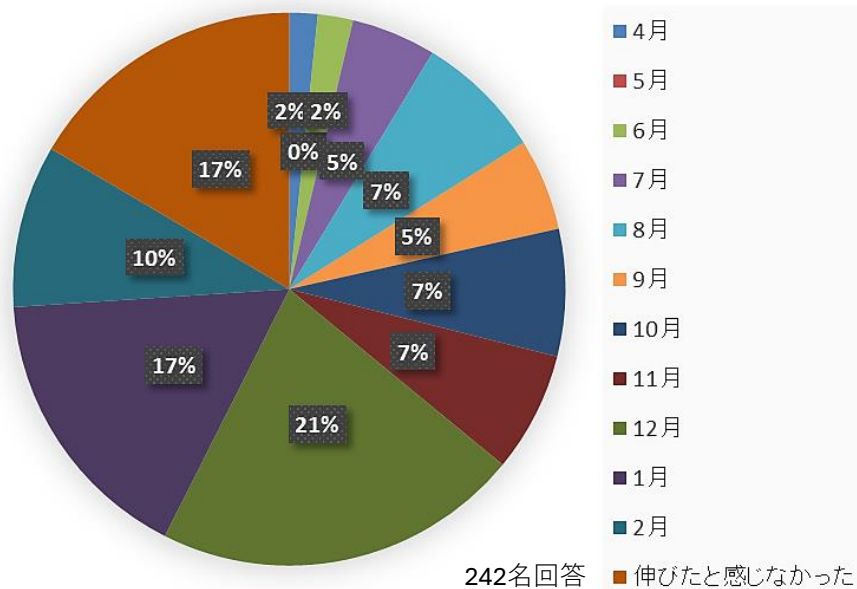
東洋自習室 32.39%
その他 26.88%

早慶上理・GMARCH
合格生徒

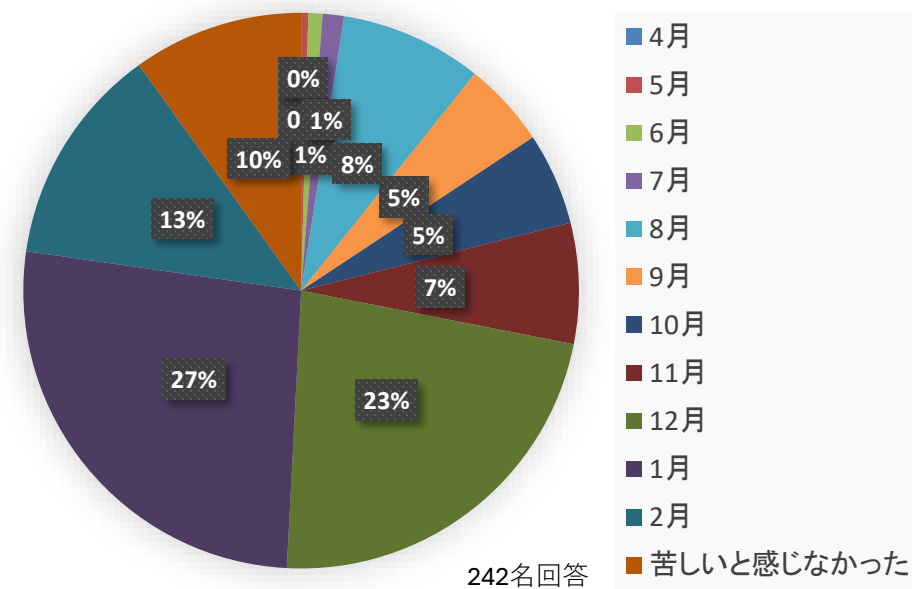
東洋自習室 32.53%
その他 26.43%

東洋だけ50.00% 自宅だけ28.34%
予備校だけ30.76%

自分の学力が最も伸びたと感じたのは3年生のいつ頃でしたか。



受験勉強に取り組んでいて、最も苦しかったのは3年生のいつ頃でしたか。



学力が伸びていると実感する時期と、苦しい時期は同じ。